

(別紙1)

事業報告書

事業名	小学生の居場所『くりりんくらぶ』
申請分野	団体指定寄附 <u>分野指定寄附</u> (子ども ③ 分野)
目的	※事業がどのように対象者・利用者の利便性の向上や支援につながったかなど、事業の目的を記載してください。 小学生の居場所作りの取り組みとして、工作や料理など多種多様な体験教室を行い、子どもたちは仲間同士認め合いながら、自分らしく表現する場所になる。異年齢交流で、相手をおもいやる心を育てることができる。 また、夏休みなどの長期休みでは、ゲーム依存の防止、生活リズムの維持になり、健康面にも良い効果が得られる。
事業実施の地域及び対象者	※実施する事業内容の対象地域、対象者数について記載してください。 高松市内の小学生 各回 15 名程度
具体的な事業内容	●「土曜くりりんくらぶ」 毎週土曜日 13：30～15：30 ①おやつ作り②造形遊び③小さな建築家シリーズ④自由遊び ●「夏休みくりりんくらぶ」 夏休み期間 8 月木曜日 2 回 10：15～15：45 おやつ作り、ランチ作り、工作、宿題、外遊びなど ●「2024 食育体験 SDGs を食で学ぼう」 ①田植え②料理教室③稲刈り④みそ作り ●「乳幼児親子とふれあい遊び」月 1 回 ●「お店やさんを体験してみよう」年 2 回 ●「高学年 1Day キャンプ」年 1 回 保護者も見守り隊として関わり、大人との関わりや異年齢（中高生や幼稚園児、乳幼児親子）との交流など、遊びを通してコミュニケーションを育て、誰かのために、のおもいやりの心も育てる。

事業実施の 効 果	地域の異年齢交流の場になり、おとなも子どもも豊かに育ち合える地域社会作りができました。子どもにも大人にもひとりじゃないこと、仲間がいること、誰かを頼っても良いことなど、心の拠り所の居場所になれたように思います。 また、子育て親子にとって親子間においても良いコミュニケーションが生まれ、より良い子育て、親育ちに繋がりました。
備 考	鑑賞事業を軸に様々な活動を経て、子育て親子とたくさん関わり、家庭以外の居場所がどれだけ大切かということを実感しています。また今年度も活動を通してたくさんの親子の笑顔に出会いました。これからもおとなも子どもも豊かに育ち合える居場所作りを行っていきたいと思います。

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加者数
	場所:マイシアター高松 2 階、和室又は文庫室 スタッフ 2 名配置 毎週土曜日 13:30～15:30 月に行う活動内容 ①おやつ作り②造形遊び③自由遊び 夏休み期間 8 月 23 日、28 日 10:15～15:45 おやつ作り、ランチ作り、工作、宿題、外遊びなど 日々、スタッフは活動日誌を付け、子どもたちの様子を記入し、スタッフ同士の連携を保つ。 また、その日の活動の様子や子どもの気になる点など、保護者に伝える。 場所:郊外活動(高松市内) スタッフ 4 名 『2024 食育体験 SDGsを食で学ぼう』 お米離れになりつつある子どもたちに田植え稲刈りの体験を通して、お米のおいしさ、食の大切さを学び、また地産地消を取り入れ、自分たちで食事を作りSDGsに貢献することができるを学ぶ。 地産地消を取り入れ、地域と関わることの大切さも伝える。 ①6/8 『田植え体験』 香川町森農園 ②夏休み『料理教室』 マイシアター高松 ●地元の材料を使って自分たちで料理し、みんなで一緒に食べる。 ③9/14 『稲刈り体験』 香川町森農園 ④2024.1/18 『みそ作り体験』 伏石中央公園管理事務所	小学生	のべ 199 名

	『乳幼児親子とふれあい遊び』 子育て支援拠点「子育てほっとステーションもこもこ」 ●乳幼児親子に向けて、小学生が絵本の読み聞かせや手遊びをする。遊びを通して自分を表現できる場にする。 2024・6/15、12/14『お店やさんを体験してみよう』 もこマルシェにくりりんのお店を出す。 ●自分が使っていたおもちゃや使わなかった文房具類などを販売し、お金の価値を学ぶ機会にする。 2024・6/29『高学年 1day キャンプ』御山公園プレイセンター 薪割りから火おこし、食事の段取り等を通して、仲間と話し合い協力する。また自分の役割を考える。		
--	--	--	--

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施したかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

事業実施の効果

4月	6日は、UV レジンで小物作りでした。低学年には少し難しいかな？と思いましたが高学年の子が上手くフォローしてオリジナルあふれる素敵なチャームが出来上がりました。13日は、アイシングクッキーを作ろう!!でした。みんな真剣に無言で集中して、細かい作業をやりきりました。こうやって作る！が分かって楽しかったようです。20日、27日は、自由遊びでした。折り紙をする子、本を読んでくれる子、学校のお話をたくさんしてくれる子、ひとりひとり違う遊びをしていたかと思えば、かたまっで遊んだり色んな過ごし方をしていました。学校も学年も違う、興味があることも違うけど子どもたちの笑い声、おしゃべりは止まらず楽しい時間になりました。
5月	18日は、フォトフレームを作って大好きなひとに写真をプレゼントしようでした。プレゼントではなく、みんなお家に飾る可愛い作品ができました。25日は、『もこマルシェ』にお店を出そう!でした。自分が使わなくなったおもちゃや使わない鉛筆やシール、ノートなどを持ちより値段を付けたらお店の看板を作ったりしました。商品としてお店に並べること、お客さんが来てくれるようにするなどみんなで考えました。ごっこ遊びではなく、実際に商品売るので、みんなワクワクしているようでした。ものの価値やお金について少し学ぶ機会になりそうです。
6月	8日は、田植えに行こう!!でした。毎年参加している子どもたちは慣れた手付きでサクサクと植え、初挑戦の子たちは水をはった田んぼに入ることからドキドキしたようです。毎日食べているご飯がとても身近に感じられる体験はこれからも続けていけたら良いです。15日は、『もこマルシェ』に参加しようでした。子育て支援拠点が行っているイベントにお店やさんで参加させてもらいました。子どもたちが主体となり遊休品を販売しました。小さな子どもたちとふれあう良い機会になり、また地域の大人とも関わることができました。閉店後は商品が売れた金額を計算したり、次回に向けての意欲的な話ことができました。22日は、もこもこちゃんとふれあい遊びでした。子育て支援拠点『もこもこ』にお邪魔して小さな子どもたちに向けて絵本の読み聞かせをしたり、手遊びをしたりしてふれあうことができました。29日は、低学年は自由遊び。高学年はデイキャンプに行きました。デイキャンプでは、ゲームをしてチーム力を高め、火起こしをし、カレーライスを作りました。自分たちですべて調理し、飯盒炊飯にも挑戦して、美味しいカレーライスが出来上がりました。みんな自画自賛でお家より美味しいと絶賛していました。学年が上がると自然に下の子どもたちをフォローしている姿は、こうやって異学年の交流を積み重ねてきた証だと思います。
7月	6日は、ステンドグラス調の短冊作りでした。段ボールやアルミホイル、毛糸を使って短冊を作りお願い事を書き、その短冊は子育て支援拠点の笹に飾らせてもらい七夕の歌をみんなで歌いました。13日は、もこもこちゃんとふれあい遊びでした。まずペープサートを作りました。絵を描くのが好きな子が絵を描き、ちょっと苦手な子は色を塗ったり、本をめくる担当になったりして、自分ができることをそれぞれ見つけて、絵本の読み聞かせをしました。小さな子どもとふれあう機会がない子はちょっと緊張気味でしたが、最後は楽しかったと笑顔でお話をしてくれました。20日は、自由遊びでした。仲良しのふたりが来てずっとおしゃべりして笑ってました。こんな時間を過ごせる場所がここにあって良かったです。

	27 日は、そうめんスライダーをみんなで作ろう♪でした。ペットボトルを半分に切って、みんなで絵を描いてから繋ぎ合わせていきました。高学年がリーダーシップと知恵を使いながらチームワークを発揮し、みんなで楽しくオリジナルそうめんスライダーが完成しました。おそうめんがちゃんと流れて歓声が沸き、美味しくいっぱい食べました。
8 月	3 日は、けん玉名人になろう!!でした。けん玉協会の藤井さんに色々なけん玉の技の名前や基本的なことを聞きながらけん玉に挑戦しました。たくさん練習した後はけん玉検定にチャレンジして賞状をもらいました。賞状をもらって自信満々の顔がとても素敵な子どもたちでした。10 日は、もこもこちゃんとふれあい遊びでした。参加はひとりだったけど、色んな話をたくさんしてくれました。お話をするだけでも子どもの心に寄り添えることができて良い時間になりました。17 日は、夏の思い出フォトフレーム作りでした。夏休みの思い出の写真を入れて飾れるように作りました。みんなで夏休みの思い出をおしゃべりしながら作ったので、とても楽しかったようです。
8 月 夏休み 企画	24 日は、夏休み食育料理体験でした。「郷土料理をアレンジレシピ！自分流押し抜き寿司&パリパリチーズそうめん」を調理して食べました。低学年は食材を切ったり混ぜたり、高学年は焼きを担当してそれぞれができることを分担しながら美味しい料理が出来上がりました。家ではなかなか料理のお手伝いはさせてもらえない子が多いようで、やってみたいの気持ち大切にしたい機会になったと思います。23 日、28 日はくりりんサマーくらぶをしました。10 時から 16 時までの長い時間をくりりんくらぶで過ごしました。ランチ、おやつは自分たちで作って食べました。家でゲームしたいと言う子やけんかして泣く子もいますが家で留守番よりいいと言う子もいて、夏休みはどれだけの子どもたちが一日の長い時間ひとり又は兄弟でお留守番しているのかを考えさせられます。
9 月	14 日は、稲刈りに行こう!!でした。自分たちで田植えした苗が立派な稲に育ち収穫しました。自分が植えた田んぼなので場所も覚えてて、稲を刈る姿が満足そうにみえました。子どもたちのできた！の笑顔はとても素敵です。21 日は、8/31 の延期で夕涼み会でお店のお手伝いをしよう!でした。子育て支援拠点がやっている夕涼み会にゲームコーナーを出しました。小さい子どもも参加できるように玉入れにして、たくさん子どもたちに参加してもらえました。参加する子どもたちに自分たちで声掛けをして順番に並んでもらったり、玉を渡したり、玉が上手く入ると拍手して盛り上げたり、大人が教えなくても高学年は進んでやっていました。低学年にも教えて出来そうなことをお願いするのも子ども同士で協力していました。28 日は、蒸しパンを作ろうでした。ホットケーキミックスを使ったので簡単に美味しく出来上がりました。レンジではなくお鍋で蒸したので、こうやってするの？ふっくらもちっとできた一、とか色んな発見があったようです。

10 月	5 日は、おやつを持って遠足に行こうでした。それぞれが好きなお菓子を一つ持って、事務所近くの公園まで歩いて行きました。公園では鉄棒が得意な子どもが披露してくれたり、スタッフも参加してみんなで鬼ごっこしたり、おやつを食べたりして思いっきり外で遊ぶことができました。12 日は、ハロウィンおやつバッグを作ろうでした。紙コップと折り紙を使って作りました。おばけかぼちゃにしてみたり、黒猫にしてみたり、色んな表情のバッグが出来上がりました。子どもたちの感性は凄いなーと毎回思います。19 日は、もこもこちゃんとふれあい遊びでした。先週作ったハロウィンおやつバッグを小さな子どもたちにプレゼントしました。おやつは入ってないけど、喜んでもらえてとても嬉しそうでした。26 日は、段ボールでお化け屋敷を作るよ!でした。骸骨やおばけの絵を描いて、仕掛けを作ったりしました。最後は部屋を真っ暗にしてスリル満点にして、みんなでドキドキも味わいました。ハロウィンは日本の行事ではないけど最近では身近なイベントになり、なんでおばけやかぼちゃがでてくるのかお話してくれる子がいてとても楽しい時間になりました。
11 月	2 日は、ミニたいこを作ってみんなで演奏だよ!でした。残念ながら、ひとりしか利用がなくみんなでは演奏は出来なかったけど、スタッフとミニたいこを叩いて遊びました。9 日は、もこもこちゃんとふれあい遊びでした。紙芝居と絵本を披露しました。事前に練習をしたので上手に読めました。ちょっと緊張したようですが、小さな子どもたちとふれあうのは楽しいようです。16 日は、割りばし鉄砲を作って遊ぼう!でした。けん玉協会の藤井さんに教わりました。基本的な構造から連射できるライフル版など、自分はどれが一番いいかな?と色んなパターンを教えてもらい考えながら作ることができました。最後は的当てをして、床が輪ゴムだらけになるほど楽しく遊びました。30 日は、『もこマルシェ』にお店を出そう!でした。6 月に参加させてもらって、今回で 2 回目でした。子どもたちは前回の改善点は何かだろうと考えながら、当日の準備をしました。値札や看板をバージョンアップして、お客さんに来てもらえるように工夫もしました。子どもたちが自ら考えて作るお店は楽しそうです。
12 月	7 日は、表現あそびを楽しもうでした。まず、ゆたんぼさんのミニコンサートを聴きました。鍵盤ハーモニカやギター演奏でクリスマスソングをたくさん聴かせてもらい、一緒に歌ったり身体を動かしたりして楽しみました。その後リース作りでは、色んな形のパスタをリース形にカットした段ボールに貼り付けて、金や銀のスプレーをして仕上げました。素敵なリースばかりで、もうすでにクリスマス気分になりました。子どもたちのアイデアに毎回感心します。とても楽しい時間になりました。14 日は、『もこマルシェ』に参加しようでした。前回参加した時より子どもたちの接客も上手になり、たくさんの方がお客さんに来てくれてみんなで喜びました。21 日は、もこもこちゃんとふれあい遊びでした。折り紙でサンタクロースを作り、小さな子どもたちにプレゼントしました。25 日は、ウインターくらぶでした。夏休みのサマーくらぶが台風のため中止になったので、冬休みに 1 日やりました。クリスマスパーティーを企画し、お昼ご飯は自分たちでハンバーガーを作り、デザートはクレープを作って食べました。調理には時間がかかるけど、やりたい気持ちを大切にできる機会なので、これからも続けていきたいです。みんなでゲームをしたり歌ったり、楽しいクリスマスを過ごせました。

1 月	11 日は、おもちを作ろう♪でした。おもちは機械がこねて作ってくれるけど、丸く成型するのは自分たちでやりました。きな粉をつけたり醤油につけたり。家ではこうやって食べる、など、お正月や冬休みの話で盛り上がりました。18 日は、おみそ作りを楽しもう!でした。去年作ったお味噌が美味しかったから参加した子が初めて参加する子に教えたり、また美味しくできるかなーと話しながら作っていました。25 日は、滝宮天満宮に初詣に行こう!でした。琴電三条から滝宮まで乗って片道30分の電車の旅を楽しみ、天満宮でお参りをしました。神社の横道を探検したり、道の駅までの近道を発見したり、「ぎょ魚」という岩を見つけて笑ったり不思議そうに観察したり、ワクワクドキドキの体験になりました。
2 月	1 日は、ポンポンでマスコットを作ろうでした。毛糸を使って自分だけのオリジナルポンポンが出来上がりました。目をつけて親子に見立てたり、お団子みたいに重ねたりして、作った後も楽しく遊びました。8 日は、もこもこちゃんとふれあい遊びでした。先週作ったポンポンをプレゼントしました。参加はひとりだったので、ちょっと恥ずかしかったようです。15 日は、染色ペンでオリジナルグッズを作ろうでした。布用染色ペンを使って布カバンに絵を描きました。自分の名前をローマ字で描いてロゴマークのように見せたり、好きなキャラクターを描いたり、素敵なカバンが出来上がりました。出来上がったカバンを自慢するようにお母さんに見せる姿はキラキラ輝いてとても素敵でした。22 日は、カラフルティピーテントを作ろう!でした。ミライクラフト1級建築士の野上さんに教わりながら、みんな素敵なティピーテントが出来上がりました。一つの作品の中にも子どもたちはオリジナルの物語を想像していたりこだわりを持っていたり、私たち大人が想像できないことを自由に表現しているので、この力をどんどん伸ばしていけるようこれからも関わっていきたいです。
3 月	1 日は、けん玉名人になろうでした。けん玉協会の藤井さんに教わりながら、みんなどんどん上達していきました。初参加のお友達もコツコツ練習し、けん玉検定にチャレンジして賞状をもらい大満足してました。昔ながらの遊びをしたことがない子どもが増えていて、とても寂しく思います。8 日は、さぬきこどもの国から「遊びの宅配便」が来てくれました。音楽工房の方で、歌や演奏、珍しい楽器を使って体験演奏をさせてもらったりと盛りだくさんの内容で、とても楽しい時間になりました。小さな子どもたちも参加していたので、音楽を通して異年齢交流もできました。学校がお休みの日は、一人っ子や、兄弟以外の子どもとあまり遊ぶことがない子どもにとって、こうやって異年齢交流になることは大事だと改めて感じました。

(別紙3)

収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	金額	説 明
NPO基金補助金額	★ 280,000	
自己資金計	66,926	①+②+③+④
①参加料収入	54,900	別紙参照
②会費等	12,026	
③寄附金等		
④その他		※内容を具体的に記載してください。
その他助成金等収入計		①+②+③
①補助金収入		
②委託金収入		
③その他		※内容を具体的に記載してください。
その他資金収入		
合 計	346,926	

(注)その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	金額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
スタッフ費	252,816✓	240,530	当日スタッフ
講師代	28,500✓	28,500	けん玉、お米、みそ講師
スタッフ交通費	7,560✓	7,560	当日スタッフ
材料費	52,940✓	0	各イベント材料代
会場費	1,700✓	0	伏石中央公園管理事務所 上之町集会所
印刷製本費	3,410✓	3,410	栗林小、太田小、中央小の低学 年に配布
合 計	346,926✓	★ 280,000✓	

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支精算額を記入してください。